

1. 調査報告概要表

作成日 2008年12月2日

【評価実施概要】

事業所番号	"0175300367
法人名	有限会社 浜本
事業所名	グループホーム ふれやか東藻琴館
所在地	網走郡大空町東藻琴538番地の4 (電話) 0152-63-5700

評価機関名	(有) NAVIRE
所在地	北見市本町5丁目2-38
訪問調査日	平成20年11月25日

【情報提供票より】(平成20年10月23日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 3 月 14 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤 5 人, 非常勤 6 人, 常勤換算	6.0 人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り 平屋建て
------	--------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	22,500 円	その他の経費(月額)	17,760円(10月~3月暖房費5,250)	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	367 円	昼食	367 円
	夕食	367 円	おやつ	52 円
	または1日当たり	1,153 円		

(4) 利用者の概要(10月23日現在)

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名
要介護1	0 名	要介護2	2 名		
要介護3	3 名	要介護4	4 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.2 歳	最低	73 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	大空町東藻琴国民健康保険診療所 ・ 東藻琴歯科診療所
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

東藻琴地区の住宅街に位置する平屋建て1ユニットのホームで、広い敷地内に花畑や、ビニールハウスを有しています。開設して3年が過ぎ、職員は常にケアの充実と将来の方向性を探りながら、地域との関わりを重視し、家庭的な環境の中で安心してその人らしく暮らす事を目指し理念に沿ったケアを提供する様に取り組んでいます。回廊式になっている施設は、冬期間の運動にも利用され、生活面、健康面で細やかな配慮がされています。窓が大きく明るい居間や居室からは、遠くの間々を眺める事が出来、大自然の中に抱かれた安心感の中で、利用者は、思い思いにのんびり穏やかに過ごしている様子が感じられるホームとなっています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善点については、運営者、管理者、職員が話し合いの機会を持ち、理念の共有、運営に関する家族の意見の反映等直ぐ取り組める項目から改善に取り組み、他項目も地域の方々やボランティア等とも協力しながら徐々に改善に向けて取り組んでいます。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者が評価の意義、目的を説明し、各分野別に職員各自が自己評価に取り組み、管理者がまとめ作成されています。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>昨年開催されて以降メンバーのスケジュールの都合で開催されていませんでしたが、平成20年11月に入居者家族、地域住民、行政職員、民生委員等に声を掛け2回目が開催され、ホームの現況や地域との関わり、施設運営についての意見交換等積極的に話し合わせ、ケアサービス向上の取り組みに努めています。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>意見箱を設置しています。家族会は家族の都合で出来ない現状がありますが、管理者、職員は家族の訪問時に何でも言って貰える関係作りを心掛け、相談や苦情があったときはその都度職員全員で検討し、サービスに反映する様努めています。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の特別養護老人ホームと交流し、又、地域の文化祭に作品を出品する等積極的に地域との交流に努めています。地域住民がそば打ちに来訪する等、運営推進会議を活かした地域協力も行われつつあります。</p>

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でのグループホームのあるべき姿を職員全員で話し合い、管理者がまとめ新しい独自の理念『家庭的なやすらぎのある環境の中で 地域とかかわりを持ち 尊厳をもって その人らしく 元気に 暮らすことができるよう お手伝いさせていただく』を作成しています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は、玄関、事務室、居室等に掲示し又、職員各自に配布して常に眼にしながらい理念の共有に努め、利用者一人ひとりのケアに反映する様、理念の実践に取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会加入については、意志を表明しており現在自治会と打ち合わせ中となっています。高校生ボランティアの受け入れや野菜の差し入れ、旧職員が子供と来訪したりと地域との交流が広がりつつあります。地域の行事への参加や文化祭への作品の出品にも取り組んでいます。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者が自己評価及び外部評価の意義や目的について、職員に説明し、職員各自が分野別に自己評価に取り組み管理者がまとめ作成されています。外部評価の結果については職員で共有し、又、家族にも送付して改善に向けて話し合い取り組んでいます。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	昨年の開催以降メンバーのスケジュールの都合等で中断していましたが、本年11月利用者家族、地域住民、行政関係者、民生委員等に声を掛け開催し、ホームの状況や、地域との関わり、災害時の協力要請等が話し合われています。	○	今後、幅ひろく地域住民等に声を掛け、2~3ヶ月に一度の定期的開催を目指し、日常的な地域との交流や災害時の協力体制作り等、運営推進会議を活かした取り組みがなされる事を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	毎月開催される地域ケア会議に管理者が出席し、行政担当者、地域包括センター職員等と話し合う中で相談や、情報収集を行いサービス向上に繋がっています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月発行のホーム便りにてお知らせや、個々の利用者の様子を写真を添えて報告しています。金銭管理についても毎月報告されています。又、その都度電話での連絡もされています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱が設置されています。管理者、職員は、家族の訪問時に何でも言って貰える関係作りを心掛け、利用者の健康状態の報告、意見や要望を聞き取るように努め、意見や要望は職員で話し合いケアサービスに活かす様に取り組んでいます。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職の際には、利用者や家族の不安に配慮し早めに紹介し、声掛けを多くする等馴染みの関係を築く努力がされています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム網走ブロックのスタッフ研修会出席やターミナルケアの研修会に出席予定となっています。研修に参加した際には報告の機会を作り職員で情報の共有をしています。	○	運営者、管理者のみならず職員も研修の機会を多く持ちスキルアップに努めケア向上に繋げていくことを期待します。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同地域の特別養護老人ホームと交流の機会を持っています。職員が個人的に他グループホームの見学に出掛けることもあります。	○	事業所の取り組みとして他ホームと交流の機会を持ち情報交換等ネットワークを構築し更なるサービス向上に取り組む事を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホームより面談に伺い、情報を把握し、利用前に利用者と家族に見学をしてもらい、ホームや職員に馴染む機会を設けて、不安や意向を受け止めスムーズに支援出来る様に相談しながら、利用に繋げています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者を人生の先輩として尊重し、本人の力を発揮して貰う場面作りを心掛け、感謝の気持ちを伝えながら共に支え合う関係を築いています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	過去の生活暦や生活記録を参考に、希望や意向を会話の中から思いを汲み取り検討しています。困難な場合は、表情や、行動、しぐさ等で意向の把握に努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎日の個別の生活記録や利用者の日常の情報を記録した温度表、家族の意見等日々の気付きを反映させながら職員間で話し合い利用者本位の介護計画を作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	1ヶ月毎のモニタリングにて意見交換を行い、3ヶ月毎に定期的に見直しを行っています。又、状況の変化に応じてその都度見直され現状に即した計画が作成されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	洗濯や通院支援、理、美容支援等多様な支援を状況に応じて行っています。時には受診同伴することもあります。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望するかかりつけ医と連携し、連絡、相談を取りながら支援しています。受診結果に付いては家族からも報告がされています。状況に応じ協力歯科医の往診も行われています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームとしての指針を作成し、家族にも説明し、利用者、家族の意向の把握に努め状況に応じた対応の整備に努めています。訪問看護ステーションとも連携体制を取っており、2週間に一度の訪問と、24時間相談対応できる体制になっています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	管理者、職員は、利用者の誇りやプライバシーに配慮した言動に留意し支援しています。個人記録の保管についても目に触れぬ様に配慮されています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れの中で利用者一人ひとりのペースに配慮し柔軟な支援を心掛けています。利用者は、折り紙等の趣味を行ったり、昼寝をしたり思い思いに希望にそった生活をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の力量や意欲を活かしながら配膳や下膳、食器拭き等を一緒に行っています。健康に配慮された献立は、時には利用者の好みを取り入れた献立に変更したり、誕生会や季節の行事食を楽しむ事もあります。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決まっていますが、時間帯や曜日等希望に沿った支援をしています。又、状況に応じシャワー浴で対応する事もあります。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物干し、モップかけ、食器拭き等生活歴や力を活かしながら職員と一緒にしています。誕生日には職員手作りのプレゼントがあり利用者の楽しみとなっています。10時のお茶の時間には利用者の嗜好に合わせ、コーヒーやココアを楽しんでいます。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	藻琴山に紅葉見学に行ったり、職員、ボランティアの方と散歩をしたりとその日の希望に沿って支援しています。気候に合わせ、外気浴や日光浴等も行われ、施設の回廊を利用した運動支援も行われています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけないケアを実践しています。一人で外出する利用者には声を掛け見守りながら安全確保に努めています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	各部屋に煙探知器が設置されています。副施設長、管理者が防火管理者の研修を受講し災害対策に備えており、緊急連絡網も作成されています。	○	災害に付いては、常日頃からの訓練が欠かせないと思われます。時間帯や季節を想定した訓練の実施や地域との相互協力体制の整備を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の状況に応じた食事を提供しています。嚥下が困難な利用者や体重減少が見られる利用者には、かかりつけ医と相談し、補助食品の対応も行っています。水分量、食事はバイタル等と共に温度表に記録され職員間で周知されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日当たりの良い居間にはソファや観葉植物が程よく配置され、窓から眺められる山々からは季節を感じる事ができます。居間の隣には和室があり落ち着いた雰囲気の中、テレビを見たり、新聞を読んだり自由に過ごせる空間となっています。廊下にはベンチを置き、休憩したり、利用者同士の会話の場となっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、利用者の馴染みの家具や、寝具、仏壇、テレビ等が持ち込まれ、家族や外出時の写真を飾ったりと居心地よく過ごせる様に配慮されています。		